

くみやま

議会
だより



No.
128

11月1日号
発行／京都府
久御山町議会

9月定例会

定例会議決事項など……………2P～
代表者・一般質問……………5P～
常任委員会閉会中の事務調査報告など
……………18P～
ホープ登場⑰……………20P

[表紙写真：佐山小学校運動会]

12月定例会の予定

12月4日(火) 開 会
12月18日(火) 一般質問
12月21日(金) 閉 会

※日程は、変更することがあります。

信貴新町長が初の議会出席、 下水道工事請負契約などを議決

9月定例会
9月7日～27日

平成24年第3回（9月）定例会は、9月7日から27日までの21日間の会期で開かれました。今議会では、町長から提出された条例改正、補正予算、工事請負契約など、11議案を審議し、いずれも原案のとおり同意・可決されました。

平成23年度の各会計決算認定についての7件は、決算特別委員会を設置し、審査を付託しました。また、首長改選時に認められている代表者質問には6人の議員が、一般質問には、5人の議員が登壇し、信貴町長の政治姿勢や、当面する多様な課題について、行政の考えをいただきました。

条例改正

- 久御山町防災会議条例および久御山町災害対策本部条例一部改正について
災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴うもの
【可決 全員賛成】

- 久御山町火災予防条例一部改正について
火気設備等の位置・構造・管理、火気器具の取り扱いに関する条例の制定基準を定める省令の一部改正に伴うもの
【可決 全員賛成】

補正予算

- 一般会計補正予算（第3号）
【可決 全員賛成】
- 国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）
【可決 全員賛成】

- 三郷山財産区特別会計補正予算（第1号）
【可決 全員賛成】
- 公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
【可決 全員賛成】

- 介護保険特別会計補正予算（第1号）
【可決 全員賛成】

- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
【可決 全員賛成】

- 水道事業会計補正予算（第1号）
【可決 全員賛成】

工事請負契約

- 田井下水道管渠39-2工事請負契約の締結について
【可決 全員賛成】

人事

固定資産評価審査委員に 田中裕己氏（再任）

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に、田中裕己氏（70歳・市田）を引き続き選任することに同意しました。任期は3年です。

【同意 賛成多数】

田口浩嗣氏が当選

8月に執りおこなわれた、久御山町議会議員補欠選挙の結果、田口浩嗣氏が無投票当選されました。また、田口議員の加入などに伴い、議会の構成が別表のように変更されました。



田口 浩嗣
たぐち こうじ

44歳
相島

●好きな食べ物：ネギ焼・ラーメン・焼き肉ホルモン
●私の性格：長所であり短所は、これと思ったら、真つ直ぐに突き進む。
●私の抱負：人との出会い、つながりを大切にし、共に助け合いながら、いつまでも久御山町に住んでよかった、住み続けたいと思っています。町を目指しています。

公明党議員団	◎戸川 和子 岩田 芳一
日本共産党議員団	◎三宅 美子 巽 悦子
清風会	◎中井 孝紀 島 宏樹 田口 浩嗣
緑風会	◎塚本五三藏 堤 健三 河原崎博之
ネクストくみやま	◎内田 孝司 樋口 房次
自由クラブ	◎林 勉 中 大介

◎印は会派代表者

平成23年度会計

決算審査

平成23年度各会計の決算認定についての7議案を、議会の閉会中も十分な時間をとり、より詳細な審査をおこなうため、7人の委員で構成する「決算特別委員会」を設置し、審査することとしました。

決算特別委員会委員

審査日程

委員長	戸川 和子	◎現地視察	10月4日
副委員長	島 宏樹	◎総務部・消防本部・会計課・議会事務局	
委員	中 大介	◎事業建設部・上下水道部	10月10日
委員	内田 孝司	◎民生部	10月12日
委員	田口 浩嗣	◎教育委員会	10月15日
委員	河原崎博之	◎総括審査	10月19日
委員	三宅 美子		10月31日

(日本共産党議員団)



水道施設耐震補強等整備工事



田井下水道管渠工事

常任委員会からの報告

9月12日の総務事業常任委員会では、「8月13、14日の府南部豪雨」について、13日の民生教育常任委員会では、「あいさつ運動」や「あいあいホール」の浸水被害についてなどの報告がありました。委員会での質疑応答の概要は、次のとおりです。

総務事業常任委員会・協議会

8月13、14日の府南部豪雨について

Q 古川の水位が下がっているが、大内川は排水ができていない。大内川から出ていくところに課

A 題があったのか。

A 特に課題があったとは聞いていない。宇治川が低水位の場合、(巨椋池排水機場から)自然流下が重視される。巨椋池対策協議会で検討されると思われる、久御山町としても聞いていきたい。

Q (資料の) 水量グラフでは、14日の2時から5時までの雨量が多いが、川の流れを悪化させるごみかひっかかっていたのではないのか。

A 工場地域で浸水があった。車の部品、ビニールシートなど相当な量だった。定期清掃が必

要かどうかの検証はまだだが、今後の対策としてネットを配置したと聞いている。

Q 佐山、林地区の床下浸水の原因は。

A 北畑西の会付近も浸水した。原因は、都市の排水量以上の雨が一気に降ったと考えている。

Q 排水管が排水量に見合っていない。改善されるのは。

A 「浸水想定は、1時間間で50ミリのまちづくり」といわれている。

午前4時〜5時には、1時間当たりの雨量が、100ミリを超えていた。この雨量に対しては限界がある。

Q 自治会への連絡はどうなっていたのか。

A 避難水準に至っていない。消防団との連動で、自治会との連絡を取るようにしたい。

Q 総務班が情報収集とあるが、初動と集約は。

A 警報発令と同時にパトロールした。佐山排水機場付近の古川の水位が気になったので、重点的にパトロールした。その他には、大内川サイフォン、久御山排水機場の状況を災害対策本部に報告した。

Q 復旧も一元管理する対策本部を作る考えは。

A 危機管理、今回の教訓、各課の課題もまとめたい。

民生教育常任委員会・協議会

社会教育委員会提出 「家庭教育のあり方」 答申について

Q 「あいさつ運動」だけでは、成果がみられない。生きている意味を子どもたちに教えることが大切では。

また、「あいさつ」も大切だが、「何を教えるのか」の観点がほしかったが。

A 社会的環境の変化に

伴い基本的な生活習慣ができていない状況がある。

家庭は、社会に巣立っていく場所であるという観点から、「思いやり・感謝する心」を育む教育を進めるのは、社会教育

全体の問題として、家庭教育総がかりで進めなければならぬ。

子育て支援 センター あいあいホールの床上浸水



床上浸水したあいあいホール

Q 8月14日の未明、豪雨によりあいあいホールが床上浸水となったが、根本的な原因・解決策は。

A 低地なので、今後は抜本的に解決策を模索していく。

また、子どもが多い地域なので早急に解決できるように要望がでている。

町長選挙後初となった9月定例会の代表者・一般質問は、9月23日(日)の休日議会におこなわれ、代表者質問には6会派の議員が町長の政治姿勢について、一般質問には5人の議員が町政の当面する課題について、町長の考えを問い、たどしました。

質問の項目などは下記および12ページのとおりで、その主な質問・答弁の要旨を掲載しています。



議 場

質 問 者 (質 問 順)

ネクストくみやま	内田 孝司 議員	… 6ページ
① 防災行政について		
緑 風 会	塚本五三藏 議員	… 7ページ
① 行政改革と行財政経営について ② 心なごむ、安心なまちづくりについて ③ 福祉の充実について ④ 教育の推進について ⑤ 産業の発展について ⑥ 役場について		
日本共産党議員団	三宅 美子 議員	… 8ページ
① 国政における重要課題についての見解 ② まちづくりについて		
自由クラブ	中 大介 議員	… 9ページ
① 町長の施政方針について		
清 風 会	中井 孝紀 議員	… 10ページ
① 『3つの約束』について ② 『7つの挑戦』について ③ 行政の継続性について		
公明党議員団	戸川 和子 議員	… 11ページ
① 町長の政治姿勢について ② 住民の安心安全のまちづくりについて		

6会派が政治姿勢を問う 代表者質問



ネクストくみやま

内田 孝司 議員

Q 危機管理の推進などの考え方、安全安心なまちづくり今後の姿勢は

A 今後検討を加え、一層災害に強いまちづくりを目指す

質問

最近発表された南海トラフ地震の発生予報や、近年の地球温暖化による異常気象にて、想定外や記録的な豪雨が発生し、各地では甚大な被害が出ている。京都府南部も8月14日未明の集中豪雨により、甚大な被害が発生したところである。

そこで災害に対する、危機管理の推進などの考え方や安全・安心なまちづくりに向けた今後の姿勢は。

町長

昭和28年の大洪水以降、甚大な被害も無く、今日まで来られたことに対し改めて敬意を表するとともに、私も治水対策を肝に銘じ、ソフト面として防災計画の見直しや、ハード面として、防災無線などによる情報等伝達手段の充実に向け、今後検討を加えていくとともに、地域全体での自助、共助、そして公助ともに一層充実させていき災害に強いまちづくりを目指す。



同報防災無線の充実を

Q 管内の内水排除など治水対策の現状と今後の対応は

A 関係機関と協議しながら国、府に対する要望を含め検討

質問

今回の集中豪雨による本町の被害は、住宅をはじめ商業・工業施設での浸水があり、また、田畑の冠水による農作物の被害額は、1億1千260万円と想定されている。

町長

今後このような想定外の集中豪雨や局地的豪雨は、いつ発生してもおかしくないとされるなか、今回の被害状況を踏まえ、管内の内水排除に関する現状と今後の治水対策は。

町長

今回の集中豪雨により、佐古都市下水路排水区域で道路冠水や家屋の床下浸水などが、また、各都市下水路沿いの一部で、道路冠水などが発生し農作物に大きな被害をもたらした。各都市下水路およびその他の水路で、ごみによる水路のつまりにより流れが阻害されて道路冠水している箇所も見受けられたことにより、

今後、日常のパトロールなどによるごみの撤去などの頻度をふやし、不法投棄防止や水路敷へ物を置かないよう啓発も進める。

現在の水路整備水準を超える雨に対する総合的な治水対策は、今後ハード面だけでなくソフト面を含め、関係機関と協議しながら、国・府への要望を含め検討していく。



8月14日未明の田畑の冠水

緑 風 会

塚本五三藏 議員



進化し続ける役場の

行財政経営の基本的な考えは

行政のプロが戦略的な
行財政経営に取り組む

質問

徹底した行政改革と行
財政経営の基本的な考え
方および組織機構の見直
しは緊急の課題であり、
人材育成でどのような職
員像を求めるか。
徹底した行財政経営と
なれば、企業会計である
水道事業における、水道
料金は、公共下水道管の
敷設完了後、条例で3年
以内に接続の義務がある
が、未接続者に対しては、

町長

行財政改革を断行する
過程で住民の皆さんにも
痛みを分かっていたとき、
行政運営に民間の経営感
覚を取り入れた『戦略的
な行財政経営』に取り組
む。
分かりやすく即応性の
高い柔軟な組織・機構の
再編、また、個人の能力
を最大限に引き出し、資
質向上を目指し『行政の
プロを目指す職員』の育
成。
水道事業の給水収益の

増収は期待できない、大
変厳しい経営状況で可能
な限り経営努力する。下
水道事業は独立採算制の

原則から公共下水道への
速やかな、接続の啓発と
個別訪問を積極的に続行
する。

安全・安心なまちづくりと
福祉の充実

耐震化は積極的に取り組む。
安心して相談できるセンターを

質問

平成18年に第四次総合
計画が策定されたが、住
街区促進ゾーンは開発の
検証は。
地震対策で、国、府、
本町と合計90万円の耐震
化の補助金の交付中だが、
国、府に対して補助率の
アップの要望は。地震時
に発生する、液状化対策
の検証の考えは。

標とし積極的に取り組む。
また、地震被害想定調査
の報告を踏まえて、液状
化対策の検証をする。

超高齢化社会で、施設・
在宅介護と医療や認知症
対策および、地域包括支
援センターの運営を見直
す考えは。のってこバス
の検証で、オンデマンド
方式とは、どのような形
態で、いつ頃から見直す
のか。

第6次保健福祉計画に
基づき、施設・居宅介護
の給付量を決定し支援す
る。包括支援センターは

介護・医療・予防・生活
支援がワンストップで相
談できる運営を議論をす
る。
のってこバスは高齢者

など交通弱者の外出支援
で、オンデマンド方式も
1つの手段で利用者の声
や費用対効果も考慮し検
討する。

心豊かな教育の推進と
産業の発展

実施に向けて取り組む。
ブランド化に努める

質問

小学高学年に、『専科
教員加配』による理科の
専門性の高い指導は、い
つ頃からどの様な体制で
実施するのか。

期限を設定し、仮称『ブ
ランド化推進委員会』を
設置し、独自の販路の開
拓も視野に入れた支援は。

町長

小学生の個性伸長、豊
かな情操の育成などに効
果的な手段である、小学
高学年を対象に理科など
の教科も含めた検討をお
こない、実施に向けて取
り組む。

農業者や消費者のニー
ズにあった支援のあり方
を検討し、ブランド化は
本町にある組織の関係者
と幅広く連携し、ブラン
ドづくりに努める。

質問

農産物のブランド化は、
補助金の再点検と、目先
の対処ではなく、品目と



答弁する信貴町長

日本共産党議員団

三宅 美子 議員



消費増税と社会保障について 町長の見解は

A 社会保障と税の一体化は
地方にとっても必要

質問

多くの国民が所得も消費も落ち込みきびしい生活を余儀なくされている時、政府は消費増税で13・5兆円もの負担を国民に押し付けを強行採択した。一方で、子育て支援法や後期高齢者医療制度の存続、生活保護費の切り捨ての計画など相次ぐ社会保障の切り捨てに高齢者、生活保護受給家庭、子育て世代などすべての世代で大きな影響を受けている。

住民の生活を守る立場から消費増税と社会保障費の削減について町長の見解を問う。

町長

消費増税の増税と社会保障の改革については、少子高齢化の進展の激しい財政状況下で安定した財源の確保は避けることのできない課題である。社会保障と税の一体化改革は地方にとっても必要な施策である。消費税だけがイメージされているが、税率改正の時期までに、

今後策定される社会保障の全容が国民に理解されるよう、わかりやすい内容になることを切望している。

容になることを切望している。

TPPについて町長の見解は

A 慎重な協議を期待する

質問

TPPは関税を原則廃止し農産物の完全輸入自由化しようとするもので農林漁業と国民の食料に

大きな打撃を与える。また、非関税壁撤廃の名のもとに食の安全、医療、金融、保険、官公需、公共事業の発注、労働など



TPP参加で農業はどうなる

国民生活のあらゆる分野で規制緩和を狙っている。町長の見解を問う。

町長

TPPについては、地方の基幹産業は総じて農林水産業であることから、

全国町村からも参加反対の決議がされているが、経済からは参加によるメリットがあるといわれていることから、今後も慎重な協議を期待する。

原発から自然エネルギーへの 転換について町長の見解は

A 原発からの自然エネルギーへの
政策転換が望ましい

質問

昨年3月11日の東京電力福島第一発電所の事故を契機に「原発ノー自然エネルギーへの転換を！」の声が高まっている。京都府は原発銀座といわれる福井県に隣接している放射能への不安は大きい。野田内閣は2030年代に原発ゼロを可能にする方針を掲げたが、その内容は、原発再稼働を容認し40年運転。着工許可した原発新増設を認める。使用済み核燃料再処理も続行。閣議決定をおこなわないで不断に見直すとしたアメリカ・財界の圧力による抜け穴だらけになっている。この状況での見解を問う。

町長

政府は、原発ゼロ政策を打ち出したが、先日の閣議決定に至らない結果となった。私は、安定的な電力供給を基本に原発からの自然エネルギーへの政策転換が望ましいと思う。



自由クラブ

中 大介 議員

Q 戦略的な行財政経営への挑戦とは

A 進化するまちの創造を目指していきたい

質問

ひとつづくり・ものづくり・まちづくりには、安定した町財政基盤・住民との協働の中に生まれてくる。今まで進めてきた行財政改革をどのように手を加え、進化させていくのか、具体的な内容は。

町長
ここ数年町税収入が減少傾向にあり、今後早期に景気が好転することは難しく、厳しい財政運営になる、經常収支比率

が90%を超えており、義務的経費を削減しないと財政の硬直化がさらに進むと考えている。

人件費の抑制をおこなうとともに、全ての事務事業を検証し、真に住民サービスに結びついているのか、今の時代に適合しているのかなど、多角的な視点から検証し継承するものもさらに工夫を加え、必要性が低いものは廃止も視野に入れた行財政改革をおこない、次世代の人たちが希望を持

てる進化するまちの創造を目指していきたい。

質問

行財政改革の一環として機構改革が実施されるが、目的と、どのような効果があるのか、またそれによつての影響、特に住民に対する影響は出てこないのか。

町長

5年計画での課の削除、統廃合、機構見直し行革に取り組む。住民の皆さんにはわかりやすい組織の見直しとし、早い時期に住民の方へも周知し、影響は最小限に抑えるように鋭意取り組んでいく。

Q のつてごバスの今後は

A よりよい交通体系の構築を目指していく

質問

今までから無駄論や見直し論といった評価がある町内循環バス、目的の定まらない運行を続けてきた結果でもあると感じるところもある。次には思い切った見直しが必要ではないかと考えるが、今回言われている見直しはどの程度なのか。

町長

過去の見直しにもかかわらず、乗客数が伸び悩んでいることから、抜本的な見直しが必要であると考える。車両の老朽化、減価償却期間の終了に伴い、現行の運行ルートの見直しだけでなく、費用対効果も含め検討を重ね、よりよい交通体系の構築を目指していく。

Q 心なごむ安全安心のまちづくりの今後は

A 地域の自主防災組織の育成、強化を図っていきたい

質問

この町に住んでよかった、住みたくなくなる、住んでみたいと思うのには、町の安全と安心、災害に強いまちづくりも大事であり、今回の府南部の集中豪雨のように想定外にある災害に対して、防災体制や想定の見直し・検証の必要はないか。また自主防災組織についてはどうか。

には、まず、自分の生命・財産は自分で守ると

いう住民の皆さん自身の心構えと行動が防災の基本になることの啓発に努め、改めて、自主防災組織の重要性に対する認識を深め、地域の自主防災組織の育成、強化を図っていききたい。

町長

毎年、関係所管に照会し必要な点検・見直しなどを実施しているが、府南部豪雨の教訓や、新たに公表された南海トラフ地震の想定も含め、人員配置や備蓄品など検証していく。また、災害発生時



8月14日の豪雨による増水



清風会

中井 孝紀 議員

Q 『3つの約束』と『7つの挑戦』への思いは

A 施策を操る『ひとづくり』を核にして取り組む

質問

選挙戦で掲げられた『3つの約束』と『7つの挑戦』を今後実行されるわけだが、住民のみならずさまとの思いを共有し理解していただくことが重要になる。

そのため、文章からは伝わりにくい点について具体的な思いを聞かせていただきたい。

①『次世代を第一にした』とは、今を生きる私たちのとの関係は。②『ものづくり』とは、何を

くろうとされているのか。

③『戦略的な行財政経営』とは、どのような方針なのか。④『高齢者が憩えるふるさとづくり』とあるが、町内に住む子どもから高齢者までではなく、あえて高齢者だけをとりあげて憩えるふるさとづくりとされているのはなぜか。⑤『能動的に進化し続ける久御山町役場』とは、どのような職員による役場を描かれているのか。

町長

①『次世代を第一にした』とは、単に子供たちを指すのではなく、例えば家庭では祖父母から父母、子へ、職場では先輩から後輩へ世代間に引き継ぐことを意味している。

②『ものづくり』とは、具体的な施設をつくるのではなく、農・商・工の継承・発展・創造など産業全般を意味する。③『戦略的な行財政経営』とは、政策を戦略という形で、施策を戦術

という観念を持って行政サービスの品質を高めたい。

④『高齢者が憩えるふるさとづくり』とは、疾病予防や介護予防に重点を置くことにより医療費の抑制にもつながることから、重要施策の一つと考えた。

⑤『能動的に進化し続ける久御山町役場』とは、職員の更なる意識改革が必要だと考えており、PDC Aサイクルの徹底と意識することが大事だと思っている。

Q 継続するものと抜本的に見直す事業の判断は

A 全ての施策を検証し、具体策を示す

質問

信貴町長は議員時代に坂本前町長が進めてこられた各種事業の中で、クロスピアの運営やクロスピア周辺の開発、のってこバス、住街区促進ゾー

ンなどの事業について厳しく指摘されていた。今後、坂本前町長の後継者として、継続発展させるものと、抜本的に見直す事業をどのように判断するのか。

町長

基本的には坂本前町長が進めてこられた各種事業のよき部分をできる限り継承していく方向で考えている。

しかし、ただ継承するのではなく、全ての事業を検証する中で必要なものは更に工夫を加えた上で継承し、必要性の低いものは廃止も視野に

入れた行政改革をおこなう中で、次世代にツケを残さない持続可能な行財政運営に努めたい。

クロスピアの運営やクロスピア周辺の開発、のってこバス、住街区促進ゾーンなどの具体的な取り組み内容については、今後議会にもお示しして、ご意見を聞く中で取り組みたい。



にぎわいが待たれるクロスピアくみやまと周辺地域



公明党議員団

戸川 和子 議員

Q 町長の政治姿勢の独自性は

A 町民討議会を設置し、住民の声を聞く

質問

信貴町長は、選挙時に、坂本前町長の後継者として出馬され当選された。

そこで、町長の政治姿勢として、どのようなことを継承され、どのような独自性を考えているのか。

町長

前町長が進めてこられ、また、今後、計画されている各種事業は、基本的には、継承・発展させていく。

そのような中で今後の財政状況を勘案し、各種の事業を検証し、改善ま

たは見直しをし、新しい久御山町のまちづくりを努めたい。

また、できるだけ多くのみなさんからの意見を聞く中で、それを行政運営に反映することが必要と考えている。

そこで、従来から実施している、町政モニター制度やエコラインなどを引き続き取り組むとともに、新たな少人数のグループを対象とした、町民討議会を設置し、さまざまなテーマについて、意見交換ができる仕組みを作っていく。

Q 医療費助成制度の拡充は

A 財源確保も勘案し、検討する

質問

現在、本町では、入院・通院されても、中学校就学前まで、1医療機関1か月、自己負担200円で治療を受けることができ、大変喜ばれている。中学校3年生まで拡充すべきでは。

町長

子育て支援医療費助成制度は、子どもを安心して生み育てることのできる大変重要な施策と認識している。財源確保も勘案する中で、今後どのような拡充が可能なのか検討する。

Q 文化財・山田家の

長屋門と母屋の改修は

A 慎重に検討する

質問

24代目当主の山田氏から久御山町に寄付の申し出があり、昨年12月の定例会の一般質問の中で、坂本前町長は、平成24年度中に受け入れる方向とし、活用などについて、町文化財保護審議会に諮

問をされている。

そのような中で、8月13～14日に府南部に大雨が降り、山田家長屋門の瓦と土塀が一部崩落し、応急手当として、ビニールシートで覆っている。今回は母屋のほうは、被害がなかったが、久御

山町の文化財を守るために、一日も早く改修に取り掛かるべきでは。

町長

山田家住宅は、平成22年に国登録有形文化財に登録されていて、町の歴史を知る上で大変貴重な建造物だと認識している。そのことから、久御山町文化財保護審議会からの答申を尊重し、所有者の意向や地元関係団体などの調整をふまえ、ど

のような受け入れ方が最適であるかを含めて考えている。

なお、山田家は老朽化が進んでおり、修復などに多額の財政負担が見込まれることから、寄付受け入れによる保存と活用方法について、幅広い財源の確保とともに、できる限り財政負担が伴わない方法も含めて、慎重に検討していきたい。



シートで覆われた山田家長屋門

5人の議員が町政をただす

一般質問

質問者（質問順）

<p>田口 浩嗣 議員 一括質問方式 …13ページ</p> <p>①防災について ②いじめについて</p>	<p>島 宏樹 議員 一問一答方式 …14ページ</p> <p>①行財政改革について ②まちづくりについて</p>
<p>堤 健三 議員 一問一答方式 …15ページ</p> <p>①安全対策について ②環境問題について ③通学路の安全対策について</p>	<p>巽 悦子 議員 一問一答方式 …16ページ</p> <p>①高齢者、中小企業支援、情報開示についての見解 ②8月13、14日豪雨災害及びその支援について</p>
<p>河原崎博之 議員 一括質問方式 …17ページ</p> <p>①農業振興施策の今後について</p>	<p>一括質問方式 従来からおこなってきた方式で、質問回数は2回までと決められています。</p> <p>一問一答方式 2回目からは、一つの事項を深く掘り下げて何度でも質問ができます。ただし、議員の質問時間は計30分に制限しています。</p>

あなたも議会を傍聴してみませんか。

12月定例会の一般質問は、12月18日(火) 午前10時に開会します。
会議日程や傍聴手続きについては、議会事務局へ問い合わせてください。



田口 浩嗣 議員

Q 排水機場の稼働は適切だったのか

A 管理規定の再検討を働きかけたい

質問

8月14日未明の集中豪雨によって内水が氾濫し、住宅の床下浸水や、農作物に大きな被害が出た。

今後、被害を最小限に抑えるためには原因について調査し、対策を講じる必要がある。

そこで、①久御山町排水機場と巨椋池排水機場の稼働時期と、河川の水位が下がるまでの稼働状況は適切であったのか。②内水を排除するために、古川・前川・大内川や、都市下水路の容量は足りているのか。

建設整備課長

①久御山町排水機場は、午前4時46分から3基が順次フル運転したが、吐出槽に渦が発生したために、1基を午前5時53分に停止した。その後は2基のポンプで午後4時5分まで運転を続けた。

巨椋池排水機場は、落雷の影響を心配する中で、1基目が6時40分に2基目は9時29分に稼働を開始して、午後8時22分までポンプを運転された。

②古川は、35ℓに対応できるように暫定改修されているが整備基準では

不足している。前川は3日間連続雨量260ℓで改修が進められているが、今回の雨は4時間で267ℓを記録しており計画を上回っていた。大内川は、55ℓを、都市下水路は51ℓの雨量を安全に流せるように整備されているが、今回は1時間に94ℓの雨量を記録している容量は不足していた。今回の冠水に関しては更なる検証をおこない、排水機場の管理規定の再検討を働きかけたい。



集中豪雨によって冠水した御牧地区

質問

ポンプの稼働マニュアルの見直しと、排水路を直接宇治川に排水する新しい整備が必要ではないか。

事業建設部長

今後の排水ポンプの運転については、巨椋池排水機場管理協議会と検討したい。

新しい排水路については、総合的な治水対策を協議する中で、検討課題の一つとしたい。

Q いじめの実態は把握できているのか

A 教員のいじめを見抜く資質向上が欠かせない

質問

大津市での男子生徒が自殺した事件は、いじめられていた生徒や周りの子どもがSOSを出していたにも関わらず、学校や教師、教育委員会が適切な対応を取らなかった結果、尊い命を守れなかったことにある。

いじめは犯罪であって苦しんでいる生徒を救いだし、大切な命を学校・教育委員会・保護者が一体となって命を守る防止策を講じる必要がある。

そこで、いじめに対する久御山町の現状と、今後の対策は。学校教育課長

学校教育課長

いじめはどの学校にも、どの子どもにも起こり得る事象である。学校では、全ての児童

生徒が学校を自分の居場所と考えられるような、いじめが発生しない学級づくりと、教員が研修を深め、いじめを見抜く資質の向上を目指している。

現在は、町内全ての児童生徒の生活実態と合わせて『いじめ』の緊急調査を実施しており、今後は結果をもとに対応策を進めたい。

質問

いじめを根本的に解決するには、『道徳教育』のあり方を検討すべきではないか。

教育長

道徳教育は、いじめを防止する有効的な方策であると考えており、全教科を含めたいじめ防止対策を進めたい。



島 宏樹 議員

Q 公有財産管理システム導入の進捗状況は

A 8月末に業者と委託契約を締結

質問

町長が掲げられる戦略的行政経営とはどのような内容か。

行政評価をさらに工夫し、事業の優先順位づけなどによる事業仕分けや限られた財源の中で、個々の事業だけを捉えるのではなく、それぞれの事業が一つの施策に結びつくような戦略的行政経営を目指す。

質問

公有財産管理システム導入の進捗状況は。

企画財政課長

本年度当初予算に公有財産管理システム導入業務委託経費を計上し、8月27日付で(株)パスコと業務委託契約を締結。

12月末までに建物と道路と水路を除く土地のデータを公有財産管理システムに入力し、固定資産土地台帳と突合の上、今年度中に資産データの整備を完了する予定。

今後は水道会計、下水道の特別会計と調整をし、また施設を管理している各所管と精査していく。

質問

町長の7つの挑戦にある公共施設白書との関連性は。戦略的行政経営の土台として新公会計制度をどのように取り組んでいくのか。

町長

公共施設白書も戦略的

Q 住街区促進ゾーン進捗状況は

A 今年度、地権者への勉強会、アンケート実施予定

質問

住街区促進ゾーンの現在までの進捗状況は。

都市計画課長

昨年は整備検討委員会を設置し地権者にアンケート調査を実施、結果から基本計画案を作成。本年度は地権者勉強会の開催、2回目のアンケートを実施し、公共施設や緑地環境と調和した快適な住宅地形成を目指した第3事業計画案を検討する。

質問

この地域の標高は、8月14日に床上浸水したあいまいホールよりも低い。

大内都市下水路や古川にも隣接している。防災に直し検討する動きはあるのか。また住街区促進ゾーンの規模は、面積43畝、1500世帯、人口2400人の計画に変更はないか。

都市計画課長

開発に伴う河川改修予定は計画していない。た

だし、調整池を観世サイフォン流域で1カ所、大内サイフォンで3カ所、開発で整備される公園の下に設置する予定。計画は2400人。高齢者向け、若年層の住宅にするかを地権者、関係者、ハウスメーカーと協議しながら進めていく。

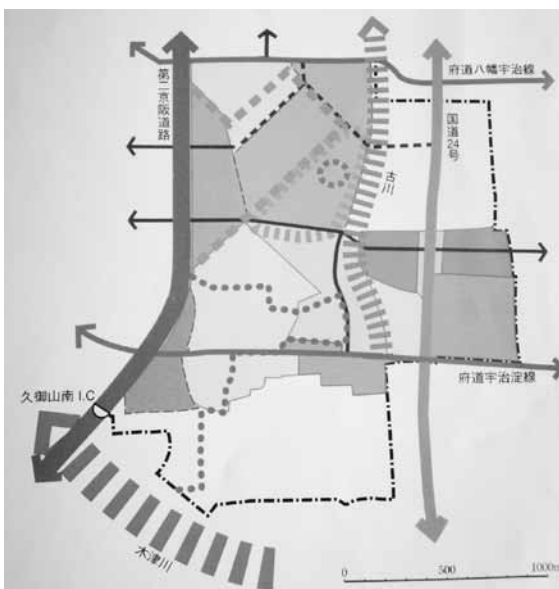
質問

住街区促進ゾーンのシミュレーションの実施時期は。久御山町の一番の強みは、昼間人口が1.7倍あるということ。永住したい思いを持たれるためには、昼間人口を上

げる施策と連動した全体のまちづくりが最重点の課題だ。

町長

シミュレーションは早急におこなわなくてはならない。今後、事業自体を積極的に取り組んでゴーサインを出すか、財政状況をもっと見守るのかの判断をシミュレーションをし進める。昼間人口を上げることは重要な観点であり、昼間におられる方に魅力を感じてもらえるよう最大限努力する。



都市計画マスタープランによる東地域のまちづくり構想



堤 健二 議員

Q 農業用水路の安全対策と環境対策は

A 改良区に対し適切な指導と協力を求める

質問

松陽台住宅地に隣接している農業用水路は、転落防止用の柵もネットもない極めて危険な状態でいつも子供たちが遊んでいる。毎年どこかで数件の幼児の転落事故があるが、今年は古川で小学生の事故があった。住宅の近くにこのような危険な個所があるのは問題である。所管の考えは。

建設整備課長

子供転落防止対策については、土地改良区に

し、一般の通行の禁止を促す看板や、水路に近づかないなどの看板の設置を要望した。町としても改良区に協力して安全対策に取り組む。

質問

指摘の農業用水路はいつも水は無く、川底にはヘドロがたまり、気温の上昇と同時に悪臭、蚊の大量発生に近隣の住民は悩んでいる。現状をどう認識するか。

民生部長

管理者である佐山土地

改良区が泥上げなど適正な維持管理をするのが基本であると考え。今年4月の蚊の発生は薬剤散布で有効な処置ができた

産業課長

土地改良区が事業主体であるので、その責任を明確にするなかで、町としても積極的に支援していく取り組みをおこなう。



危険が指摘される農業用水路

Q 通学路の安全対策についての取り組みは

A 3小学校、1中学校の安全点検を実施

質問

京都府亀岡市で4月23

日登校中の学童の列に自動車暴走し10人の死傷

者が発生する大惨事があった。この事故は全国に大きな衝撃と悲しみをあたえた。今回の事故をどのように受け止められたか、また本町の通学路の安全対策、再発防止についての取り組みは。

教育長

はじめに、通学路の安全については各箇所に見守り隊など多くの皆さんに日夜ご尽力いただいていることに感謝申し上げる。亀岡の事故を教訓に通学路の安全点検をしているところである。登校中の事故についてはあつてはならないことであり、より一層の安全指導をおこなうなかで意識の高揚につとめ、このような悲惨な事故のないように、取り組みたい。

質問

久御山中学校の正門前道路をスクールゾーンに設定できないか。スクールゾーンを設けているところは事故は少なく、極めて有効な対策であると思うが、その考えは。

教育長

地域の皆さんの協力がなければ大変難しい制度であり、関係する機関と相談したい。



久御山中学校正門前



巽 悦子 議員

18月13日、14日の豪雨 農作物被害補償について聞く

A 町の対応は実態把握の上で判断する

質問

住民から、道路冠水、床上・下の浸水、農地の冠水などは、人災ではないのかといった声がある。原因はなんと考えるか。

建設整備課長

町内の地区内排水は、道路側溝も含め、時間雨量55・1ミリの計画し、改修をおこなっている。今回のような時間雨量が役場に設置の雨量計で59ミリ、一番強い4時30分から1時間の雨量が94ミリのよう

産業課長

農業用水の水が引かない(流れない)原因について検証し、これまでの巨椋池排水機場管理規程・予防規程の再検討などを協議会に働きかけていきたい。

質問

8月14日以降、毎週、農家の方から農作物の被害状況を直接お聞きしてきた。農作物の被害に対する補償について聞く。

産業課長

今回の冠水被害に対する農作物への特別な支援は、現在、考えていないが、府は9月補正で、「農



8月13日~14日の豪雨で冠水状態の農地(14日早朝、相島)

作物生産確保緊急対策」として、九条ネギ、みず菜、宇治茶を対象に、農業者団体などに対して、生育回復および改植などの経費の2分の1以内で支援する。

最終的に府の施策に見合った形で、全農家対象に今回の被害がどうであったのか、自主申告だけが全体の数字をまず把握し、町の対応については、

実態を把握したうえで最終判断をしたい。

質問

府には、被害対象品目を広げるよう要望していただきたい。

町長

府に3品目にする根拠があるかもしれないが、対象は考えていかなければならない。要望を府にしていきたい。

Q 2排水機場の水位計が故障の原因は

A 落雷が原因

避ける方法は今のところない

質問

14日には佐山排水機場では1基、巨椋池排水機場では2基の水位計が故障していた。原因および対応、また落雷を避ける方法について聞く。

建設整備課長

佐山排水機場は、古川の水位(外水位)を測る方が落雷で故障し、内水位だけによる自動運転とした。

水位計の補修は発注を終え、納品が10月末である。また、落雷を避ける方法は今のところ見当たらない状況だ。

巨椋池排水機場については、2箇所。6月の落雷で故障したものは、9月18日に復旧した。8月14日の落雷で故障した分については、どのように補修するのか検討中と聞いている。

Q ハザードマップ 内水氾濫想定なし、見直しを

A 豪雨との違いわかるようにしたい

質問

今回の経験を記録に残し、広報で特集を組んで。また、住民に配布されているハザードマップには内水氾濫は想定されていない。早急に見直し、

配布してはどうか。

町長

特集にするかどうかは別で、情報発信したい。マップは、豪雨と長期的雨の違いも含め、わかってもらえるようにしたい。



河原崎博之 議員

Q 府のほんまもん京ブランド 産地支援事業の希望者は

A パイプハウス整備事業に 2 団体が応募される

質問

農業振興の側面から、発展する京都づくりの施策として、京力農業、農村総合対策として、元気な農業、農村づくりに重点投資されている。全国的に人気の高い京野菜だが、その人気の高さから他府県産京野菜が急増している。

本町の農業経営は、雨よけを主体としたパイプハウスの形態が多く経営を安定させるためにも、ハウスの設置が必要不可欠と考えるが、管内希望者の状況はどうなのか。

産業課長

本事業の主体は京都府であり、生産から流通に関わる条件を整備することにより産地の構造改革を推進し、京のブランド産品を中心とした収益性の高い園芸産地の育成強化を図ることを目的としている。

管内では、3名で構成される2グループから希望があり、京の伝統野菜に指定されている万願寺

青とうを導入の1グループが認可され、小松菜の周年栽培を予定していた1グループは不認可であった。

質問

町内においても、経済



農家経営の安定のためハウスの導入が求められる

の発展や道路交通網の整備などによる交通量の増加から、ハウスのビニールの汚れ影響が免れないところである。高速道路の側道付近ほど汚れはひどく、張り替えて2年目

になると光の透過率もかなり低下すると聞いているが、ビニールの汚れ問題についての見解は。

産業課長

大気汚染に係る影響は、環境問題として国をはじめ府、町の所管部署が調査されることとなる。

現状においては、JAや各種農業団体、施設園芸農家の皆さんにご意見を聴き取る中で、その影響を見極めていきたい。

質問

町の第7次実施計画によると、環境にやさしい農業の展開で廃ビニールの処理費を、今後3年継続で事業費を計上されているが、その先の中期的な展望は。

産業課長

本町は、これまでから環境に配慮した農業に取り組んでいるエコファーマーに対する土壌分析補助や農業施設に係る廃棄処分補助をおこなっている。廃棄ビニール処分補助では、毎年約30トン前後のビニールに対し、1

あたり20円の処分費用の補助を実施している。これらの事業については、環境への配慮や農家を支援するため、社会経済情勢も見ながら引き続き実施していきたい。

質問

グループの構成メンバーは、全員が農業後継者で今回の事業導入による施設の規模拡大で、個選共販体制の確立により、府の伝統野菜の普及と拡大を図り、市場流通へ販売強化につながると考える。

本町の財政基盤は、厳しい状況ではあるが、資材高騰の折、町より一定の助成が必要ではないか。

事業建設部長

農業生産基盤施設への補助についても、内容を精査する中で、町内農業者団体、組織への支援、農業振興の推進の観点から、今後とも予算の見直し、確保に努めてまいりたいと考えている。

閉会中の 事務調査

指定ごみ袋は？第2外環状道路はいま？

各常任委員会では、定例議会がない時も担当所管からの出席を求め町が実施している事業などの調査をおこなっています（閉会中の事務調査）。7月におこなわれた総務事業常任委員会と民生教育常任委員会の調査内容をお知らせします。



ごみ袋の指定化が来年4月から完全実施に

ごみの出し方
ごみ袋の指定化が来年4月から完全実施に
「使用できない」
ごみ袋のため、
指導シールを貼
り収集はおこな
わない。

ごみ袋の指定化とは、
家庭からのごみを入れる
袋は中身が見える透明お
よび半透明のものに限定
し（町指定の『単純指定
ごみ袋（市販）』といふ）、
今年12月から4か月間の
試行を経過した後、来年
4月から完全実施する。

町が収集するごみは、
家庭から排出される全て
のごみで、①燃やすごみ
②燃やさないごみ③リサ
イクルごみ④使用済み乾
電池⑤カセットのガスボ
ンベ⑥スプレー缶などで
ある。

色つきの袋や肥料袋は
ごみ袋に使えなくなる

確保④再資源化とごみ減
量化⑤最終処分地の延命
化である。

民生教育常任委員会（7月19日）
来年4月から、中が見える
ごみ袋を町指定とする



現地で説明を聞く各委員

現行工事中の第2名神
道路は、既に開通してい
る。基本的には町民カレ
ンダーに掲載の『家庭ご
みのわけ方・出し方』の
通りだが、特に身体的状
況に関わるものは、有色
や不透明の内袋などに包
んで出すことができるが、
全てのゴミを有色や不透
明の内袋などに包んで出
すことはできない。

周知方法は、町主催の
説明会や自治会などの申
し出による説明会で対応
するほか、チラシの配布
や『広報くみやま』や看
板設置などで啓発する。

第2名神・八幡ジャンク ションの工事現場

総務事業常任委員会（7月24日） 第2名神と第2外環状道路 今の工事状況を現地で調査

現在工事中の第2名神
道路は、既に開通してい
る。基本的には町民カレ
ンダーに掲載の『家庭ご
みのわけ方・出し方』の
通りだが、特に身体的状
況に関わるものは、有色
や不透明の内袋などに包
んで出すことができるが、
全てのゴミを有色や不透
明の内袋などに包んで出
すことはできない。

次に、京都第2外環状
道路工事現場（長岡京市
下海印寺）で説明を受け
た。大山崎ジャンクショ
ンから沓掛インターチェ
ンジ間は、平成25年3月
末までの開通予定で、総
事業費は約4,270億
円になる。



休日議会



久御山町議会は、平成22年から、12月定例会の一般質問の日を「休日議会」とし、多くの住民の皆さんに議会を傍聴していただく機会として取り組んでいます。

今年は、初めての9月定例会での開催となり、9月23日の日曜日に、30名の住民の方が朝早くから夕方まで熱心に耳を傾けておられました。

議会改革が求められるなか、親しまれる議会を目指して開催していますが、今後も開催時期や内容について検討を重ねながら続けてまいりたいと考えています。

また、昨年に引き続き、普段は業務のために見る機会がない管理職の町職員も研修として、モニターが設置された特別会議室で傍聴されました。

きて・みて・議会！ ぶらぶら議会見学会

住民の皆さんに議会に対する理解を深め、親しんでいただくため、議会施設の見学会をおこないます。

施設をご覧いただくとともに、議会の仕組みなどについて説明します。

当日は、町民文化祭が公民館とその周辺で開催されます。ご来場の際は、お誘いあわせのうえ、お気軽にお越しください。

【見学施設】

本会議場、第1・第2委員会室、議員応接室など

議会地域懇談会を 開催しています

町議会では、皆さんと議員が意見交換する地域懇談会を、次のとおり開催します。

どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

開催日 11月10日(土) 午後7時～
場所 クロスピアくみやま

開催日 11月3日(土) 午前11時～午後3時
受付場所 議会棟4階 ロビー

議会見学会、地域懇談会についての詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。
☎075 (631) 9996、0774 (45) 0105

秋のたより

町内で栽培されている水稲主要品種の「ヒノヒカリ」は、10月中旬頃に実りの秋(収穫)を迎えます。

弥生時代から栽培されている稲の収穫物は米と呼ばれ、世界三大穀物の一つとして、日本を含むアジアモンスーン地帯で、世界最大の人口密集地を支える最重要作物です。

地元で獲れたおいしい新米を食べましょう。府南部を襲った豪雨により被害にあわれた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

広報特別委員会

委員長 巽 悦子
副委員長 中 大介
委員 岩田 芳一
委員 河原崎 博之
委員 中井 孝紀
委員 樋口 房次



昆虫標本や和太鼓に夢中です

東角小学校4年生 **田口祐一朗**さん

ホープ登場①は、今年の城陽久御山夏期採集会第38回展覧会で、昆虫の部で特別賞、ネギの観察では努力賞を受賞した、田口祐一朗さん（10歳）にインタビューしました。

スイカの種研究が最初

田口さんが、夏の採集会に参加したのは、小学1年生の時で、スイカの種の自由研究でした。学校の給食で食べたスイカの種を持ち帰り、家で植えたら芽が出たことをまともしました。この時から毎年夏の採集会に参加し、今年は念願の昆虫採集の部で特別賞を受賞しました。これはとても「取りたかった」賞でした。きっかけは、「作品展を見て非常に関心をもつ

た」からで、小学2年生の時には化石の標本も作りました。そして3年生から、夏の昆虫採集や植物観察に取り組みました。昆虫を採集するのは、冬以外で、主に久御山町内ですが、祖母の家に遊びに行ったときも昆虫を追いかけています。すばらしい昆虫は、両親の担当だそうです。昆虫好きも有名になり、自宅まで昆虫を届けてくれる人もいます。今まで自宅で飼ったのは、ダンゴ虫やバッタ類、カブト虫やクワガタなどです。標本にする昆虫は、基本的に寿命が来た時にしています。最初は失敗ばかりでお母さんの手を借りていた標本づくりも、いまではだいぶ上達しました。

和太鼓にハマった

さて、標本づくりが「静」なら、「動」の和太鼓にいま、熱中しています。和太鼓は「先輩が打っているのを見て、聞いて覚えます」と説明する祐一朗さん。きっかけは両親の勧めですが、「両親のおもいは武道でしたが、これがハマッタようです。」とお母さん。

好きな太鼓は、初めて手にした長太鼓です。土曜日が練習日で、ときには5時間にもおよび汗びっしょりになっています。11月11日は「日本太鼓ジュニアコンクール京都府予選」にチームとして出場します。ファイト！（聞き手：文／広報特別委員会）

表紙の「くみやま」を書いたのは



東角小学校1年生
たなか こうすけ
田中 弘承さん

いつも「空っぽにしてる」といほど給食が大好きな弘承さんは、ドッジボールが大好きです。

いま練習に励んでいるのは、バイオリンです。保育所に弾きに来てくれたおじさんを見て、「ひけたらええなあ」と思ったのがきっかけです。弾いているうちにバイオリンが下がってしまうことが、大変苦労していることです。

